

共生・協働の地域社会づくり

みずのうえ
水之上地区公民館
TEL 0994 (32) 1597

「力を合わせ、行動を起こそう」

住みよい水之上を目指して

垂水市水之上地区は、市の中央部を流れる本城川の河口から4kmほどの上流部に位置する農村集落で、本城、高城、新御堂の3つの地域、19の振興会で構成され、人口1704人、833世帯で高齢化率は35%となっています。

地区では、平成24年度から10年間の地域振興計画「三和づくり計画」を策定し、地域活動を実践しています。この計画は、住民主体のものになるよう、策定委員会を中心に住民アンケートで寄せられた意見やアイデアをもとに、何度も案を練りながら策定しました。福祉、教育、環境など13の項目ごとに「水之上はこうありたい」という目標を設定しました。

住民が役割分担し、連携・協力して計画を実践していく仕組みの一つとして、毎年、地区公民館で「水之上生活笑楽校」を開催しています。各家庭の自慢料理を一品ずつ持ち寄り、みん

なで飲みながら食べながら地区の現状や将来を話し合っています。今年で4回目を迎え、「堅苦しくならず、いかに多くの人に集まってもら



水之上生活笑楽校

なで飲みながら食べながら地区の現状や将来を話し合っています。今年で4回目を迎え、「堅苦しくならず、いかに多くの人に集まってもら



千本イチョウ (イチョウ並木)

えるか」を念頭に住民の率直な意見を聴く場として定着し、出された意見やアイデアは地域活動にも反映されています。観光の分野では、地区在住のご夫婦が長年にわたり育てられ、市の新たな観光名所となった「垂水千本イチョウ」を垂水の宝として地区全体で大切にしていこうと、見頃を迎える毎年11月に、住民が協力して敷地内とその周辺の清掃作業を行っています。

農業の分野では、耕作放棄地の増加を防ぐため、「三和営農組合」を設立し農作業受託を行っているほか、本城川流域の草払いや、道路沿いへの菜の花、彼岸花、コスモスの植栽など、農村景観の保全にも積極的に取り組んでいます。

伝統行事の分野では、三百年以上前から続く女男河原祭りや、手貫神社の豊年祭などの継承を通して、住民に地域の歴史や文化への愛着を

代表者からひとこと



(右) 館長の田原 正人さん
水之上が元気になる取組を粘り強く進めていきます。

(左) 主事の中馬 英機さん
皆さんが望んでいることを確認し、少しずつでもいろいろな取組を前に進めていきたいです。

える工夫をすること」です。将来の展望は、本城川を中心とした自然環境や伝統行事を大切にしながら、子どもや若者、高齢者に「水之上に暮らしてよかった」と心豊かに思ってもらえるような地域とすることであり、そのために、人と人との連携を図りながら、少しずつ住民を巻き込んでいきたいと田原公民館長は語りま



千本イチョウ (清掃集合)

共生・協働の地域社会づくりや
NPO法人に関する問い合わせ先

◎共生・協働推進課(県庁9階) TEL 099(286)2241
◎共生・協働センター(かごしま県民交流センター内) TEL 099(221)6613
関連情報は、県ホームページの「共生・協働(NPO・ボランティア)」にも掲載しています。